

平成 21 年度第 2 回電気通信サービスモニター調査

(主な調査結果及び主な調査結果に対する総務省の考え方)

1. インターネット接続について

現在、自宅で使用しているインターネットの接続回線、選択した理由、利用しているサービス等について調査を行いました。

- 現在加入している接続回線を選んだ理由の上位 3 つについて、1 番目の理由を回線別にみると、ADSL は「利用料金が安いから」、FTTH（光ファイバー）は「通信速度が優れているから」、ケーブルテレビは「ケーブルテレビを視聴したかったから」が最も多い結果となりました。
- 現在加入しているインターネット接続事業者を選んだ理由の上位 3 つのうち、1 番目の理由として最も多く挙げられていたのは「利用料金が安いから」（30.1%）となっています。次いで回答の多かった「他のサービスと同じ事業者にしたいから」（18.9%）は昨年度（16.5%）から割合が高くなっています。
- インターネットを通じて利用しているサービスのうち、昨年度から利用が増えたのが、「セキュリティサービス」（54.2%、昨年度 49.3%）、「無料の映像配信サービス」（36.1%、昨年度 30.1%）、「無料の音楽配信サービス」（29.0%、昨年度 24.7%）となっています。
- このうち映像配信サービスについては、「You tube」が 45.1%と最も多く、次いで「ニコニコ動画」が 15.7%となっています。昨年度は「映像配信サービスは利用していない」が最も多い割合を占めましたが、本年度は無料サービスを中心にインターネットを通じた映像配信の利用機会が増える結果となりました。
- インターネットの 1 ヶ月あたりの利用料は、「4 千円～6 千円未満」が最も多く（36.5%）、次いで、「2 千円～4 千円未満」（34.3%）となっています。また、利用料金についての考えでは、「高いと思う」が全体の 50.1%と最も多く、「普通だと思う」が 26.1%と続いています。

2. フィルタリングについて

「フィルタリング」の利用状況、フィルタリングを利用していない理由等について調査を行いました。

- 子どもが使用する自宅のパソコンにおけるフィルタリングの利用状況は、小学生が 21.6%（昨年度 29.1%、以下同じ）、中学生が 30.8%（28.2%）、高校生が 21.7%（27.5%）となっています。また、子どもが使用する携帯電話等におけるフィルタリングの利用状況は、小学生が 50.1%（57.7%）、中学生が 62.5%（46.4%）、高校生が 54.5%（30.7%）

となり、中学・高校生の利用率が昨年度よりも高くなっています。

- また、低学年の子どもを持つ家庭ほど、携帯電話、パソコンの使用自体を行わせていない割合が高くなっています。特に携帯電話については、小学校低学年までの子どもを持つ家庭の約9割が「子どもに携帯電話を持たせていない」という結果でした。
- 次に、フィルタリングを利用していない理由では、パソコン、携帯電話ともに、「親子でコミュニケーションをとり、利用のルールやマナーを身につけさせればよい」が34.3% (29.3%) で最も多くなっています。
- フィルタリングを利用していたが、何らかの理由で解除した割合は、パソコンが3.8%、携帯電話が1.9%となっており、フィルタリングを途中で解除する割合は、非常に少なくなっています。
- 携帯電話のフィルタリングについて、今後改善して欲しい点は、「子どもの成長に合わせたフィルタリングの強弱を選択できるようにしてほしい」が33.2%で最も多く、次いで「夜間のインターネットへのアクセスを制限する機能を提供してほしい」が27.4%となりました。

3. 携帯電話の番号ポータビリティ (MNP) について

現在利用している携帯電話会社のこの1年間の印象の変化、満足度、携帯電話の番号ポータビリティの利用状況等について調査を行いました。

- 現在利用している携帯電話会社のこの一年間での印象の変化については、「端末の機能／性能」「端末のデザイン」「端末の種類の充実度」が「良くなった」「少し良くなった」という回答の割合が昨年度と同様に高くなっています。
- 一方、印象が悪くなっている割合が高いのが、昨年度と同様に「料金プランの分かりやすさ」となっていますが、その割合は低くなっています (23.3%、昨年度27.1%)。
- 携帯電話の番号ポータビリティ導入後、携帯電話の番号ポータビリティを利用して携帯電話会社を変更したと回答した人は10.3% (9.8%) でした。
- 携帯電話会社を変更した理由として挙げられた上位3つの理由のうち、1番目の理由として最も多く挙げられていたのは、「料金がお得になるから」の36.9% (41.3%) であり、次いで、「家族や恋人、友人と同じ携帯電話会社にしたいから」の31.0% (23.8%) となっています。
- 今後、携帯電話の番号ポータビリティを利用して携帯電話会社の変更を考える場合の理由として挙げられた上位3つの理由のうち、1番目の理由として最も多く挙げられていたのは、「他社から利用したい料金プランや割引サービスが出された場合」の26.9% (29.8%) であり、次いで、「家族や恋人、友人が他社へ変更する場合」の23.6% (20.8%) となっています。